

## 第1分科会(2/2)

### テーマ：河川改修事業等における工夫事例

No.	発表題名	地 方 ブロック	水系名 河川名	直轄／補助 (級別)	河川概要				発表者	所属部署		事業の概要
					河川の 流域面積	河川分類	整備計画 流量	セグメント		機 関	部・事務所	
1	プール掘りによる治水安全度の早期向上と多様な水域の創出	85	中部	太田川水系 太田川	補助(2級)	中小河川	3,200m <sup>3</sup> /s (W=1/10)	2-2	小長谷 章	静岡県	袋井土木事務所	治水安全度の向上のための河道拡幅工事において、既設橋梁がネックとなっている。河道拡幅による既設橋梁への影響を最小限にしつつ、環境にも配慮した河川改修の方法を考えました。
2	野洲川における自然再生事業～温故知新で挑む自然再生～	86	近畿	淀川水系 野洲川	直轄(1級)	大河川	2600m <sup>3</sup> /s (W=1/30)	1	田中 信	近畿地方整備局	琵琶湖河川事務所	・野洲川自然再生計画3事業のうち、今年度事業化の瀬・淵再生事業について、調査設計段階の工夫点を概説。 ・当該事業の実施にあたり、これまでの2事業をレビューした上で、以下のことに留意した。①野洲川全体の自然を線として繋ぐこと、②野洲川の自然が人と人をむすび、動植物だけではなく、人や文化も含めた地域づくりとすること、③地域住民による積極的な事業参画により、河川環境保全主流化へとつながる拠点とすること
3	「千代田地区かわまちづくり」整備について	87	中国	芦田川水系 芦田川	直轄(1級)	大河川	2,400m <sup>3</sup> /s	2-2	鳥越 美里	中国地方整備局	福山河川国道事務所	・福山市が整備する総合体育館と芦田川河川敷を一体的に整備。 ・整備に関してかわまちづくり制度を活用。 ・整備内容については委員会を立ち上げ河川管理者利用者等が協議。
4	重信川の自然環境に配慮した洗掘対策	88	四国	重信川水系 重信川	直轄(1級)	都市河川	2500m <sup>3</sup> /s (W=1/約50)	1	難波 怜	四国地方整備局	松山河川国道事務所	・生物の生息環境の保全と治水（局所洗掘対策）の融合
5	物部川深淵床止め修繕における魚道の改良	88	四国	物部川水系 物部川	直轄(1級)	大河川	4,200m <sup>3</sup> /s (W=1/50)	1	池野 裕貴	四国地方整備局	高知河川国道事務所	・延長が長く、流速が課題となり稚魚等の小さい魚介類の遡上が困難となっていた魚道を現地石材を用いて自然の瀬に近い構造となるよう改良を行い、翌年度の稚魚の遡上に効果が得られた。
6	羽根川での魚道整備による魚類の遡上促進の取り組み	88	四国	羽根川	補助(2級)	中小河川		不明	山本 修大	高知県	土木部 安芸土木事務所 室戸事務所	急峻で河床勾配のきつい羽根川では、河川横断構造物への魚道整備を継続して行ってきたが、その整備効果の検証が未実施であった。 本年度、回遊性魚類の遡上調査を実施し、整備効果の検証を行うとともに、効果的な修繕・改修計画の策定に取り組んだ事例を紹介する。
7	川内川水系かわまちづくり轟地区における取り組みについて	89	九州	川内川水系 内川	直轄(1級)	大河川	1850m <sup>3</sup> /s (W=1/30)	2-1	前園 慶樹	九州地方整備局	川内川河川事務所	・景観保全と利便性向上の調和を図った。 ・設計から施工段階まで、地域住民や関係者と一体となって環境整備を実施した。
8	東日本大震災にて被災した湿地帯の再生	東北	津谷川水系 津谷川（外尾川）	補助(2級)	107.1	中小河川	800m <sup>3</sup> /s (W=1/30)	2-2	作中 淳一郎	宮城県	土木部河川課	・東日本大震災により壊滅的な被害を受けた津谷川及び外尾川において、L1堤防の復旧に合わせて、生態系に配慮しながら湿地帯を再生した。
9	大肥川筋災害復旧助成事業における川づくりについて	九州	筑後川水系 大肥川・宝珠山川	補助(1級)	38	中小河川	400m <sup>3</sup> /s	M	中国 勝哉	福岡県	朝倉県土整備事務所	・川づくりの明確な目標を設定し、施工業者と完成イメージの共有するため、施工要領を作成した。